



平成 28 年 8 月 8 日

平成 28 年度第 1 委員会行政視察報告書

伊豆市議会議員 西島信也



平成 28 年度第 1 委員会行政視察に参加したので、その日程概要を下に記します。

期 日	視 察 先	視 察 内 容
7 月 2 6 日	岩手県洋野町役場	犠牲者ゼロの防災対策
2 7 日	〃 久慈市役所	議会報告会、かだつて会議
〃	〃 一戸町役場	デマンド交通「いくべ号」
2 8 日	〃 盛岡市役所	盛岡ブランド推進事業

これらの視察研修のうち、久慈市における「議会報告会・かだつて会議」について次のとおり報告します。

平成 25 年 NHK 連続テレビ小説「あまちゃん」の舞台となった岩手県久慈市は、「じえじえじえ条例」を制定したことで話題になりました。

じえじえじえ条例は、久慈市議会基本条例の通称であります。

以下は、同条例前文です。

「おら達の住む久慈市は、碧い海と緑豊かな大地に囲まれた自然いっぺえの郷土であり、このことをおら達は誇りに思っている。

久慈市民（以下「市民」という。）からの直接選挙によって選ばれた議員どうで構成する久慈市議会（以下「議会」という。）は、おんなじように市民からの直接選挙によって選ばれた久慈市長（以下「市長」という。）とともに、久慈市を代表する機関である。

この二つの代表機関は、おたげえに市民の思いに応えるために、議会は議員どうによる合議制の機関として、市長は独任制の機関として、与えられた権限のもとに、おたげえの特性のいいところを生かして、市民の思いを市政にちゃんと反映させるために競いあつたり、協力し合つたりしながら、久慈市にとって一番いい意思決定を導くための共通の使命が与えられている。

おらあどう議会は、議会に与えられたこの使命を達成するためにこれ

まででない発想により、まさにじえじえじえな議会を目指していくべえという思いを込めて、この条例(通称「久慈市議会じえじえじえ基本条例」という。)をこさえ、市民の思いに力いっぺえ応えていくことを決意する。

前文は、ご当地の方言を使っており、ユニークなものとなっている。じえじえじえ基本条例の特徴を次に紹介する。

## 1 議会活動の検証

情報公開、説明責任、政策立案・提言、市民生活の変化、議会運営の見える化など、様々な検証項目を用意している。

議員が何をしているのか、議会がどのような仕事をしているのか、それが市民生活にどのような影響を及ぼしているのか、それらをはっきりとした形で検証することができる意義は大きい。

## 2 ICTの積極活用

タブレットについて、端末購入経費と通信費を政務活動費で支弁している。

また議場へのタブレットの持ち込みも可能となっている。

さらにアプリを使った議員・事務局の議会日程の共有化を行っている。

## 3 議長のほか委員長の所信表明の機会を設けた。

委員長ポストを年功序列といった形ではなく、専門性とリーダーシップを持たせ、政策提言を活性化させるためのポストにするため、意欲のある方がオープンな場で「委員会をこうしたいのだ。」とか発言できる議会環境を作るため実施されるようになった。

## 4 かつて会議の開催

いままで開催していた議会報告会は、マンネリ化、参加者の固定化、参加者の少なさ、特定の人が話して終わる、行政に対する不満、陳情要望等に終始していたとのことだった。

しかしこれからは、もっといろいろな世代の人たちと市政全般について話す必要があるとの観点から、一方的に話す報告会スタイルではなく、カフェのようなオープンでリラックスした空間を設け、議員がテーブルでホスト役になり 4・5 人単位の市民を迎えるという形で行われるようになった。

テーブルにはお花や飲み物、チョコレートなども置き、クリスマス

の時期には議員がサンタ帽をかぶったりと、若者や女性も参加しやすい雰囲気を作った。

さらに子ども、学生の参加も増やすため、学校に出向いて会議を行うということも考えているとのこと。

◎取組の効果

議会に足を運んでの傍聴者数はあまり増えていないそうですが、市民のかだって会議の参加は順調で、ネット中継でのアクセス、視聴者数は大幅に増加したとのこと。

議会基本条例の制定、かだって会議を始めてからまだ2年あまりしか経過していないのでまだまだ検証は必要と思われる。

ただ市民の参加しやすくなる、見に行きたくなる議会を作っていくことは議員の重要な使命ではなかろうかと考えさせられた。

以上